

「勇者の旅」指導者養成 **オンライン** 研修会 (6時間ワークショップ)

不安への対処力を養う 認知行動療法の授業実践

小学校高学年～中学生向けの、10回の授業で行う予防教育プログラムです

参加費
無料

日程: A 8月8日(土) または B 8月19日(水)

時間: A・Bのいずれも 9:30-16:30 (9:20より入室可・途中休憩あり)

会場: ご自宅または職場

※ZoomをインストールしたPCやタブレット端末から、オンラインでご参加いただけます。
Wi-Fi環境の整った静かな場所からご参加ください。

講師: 浦尾悠子 (千葉大学子どものこころの発達教育研究センター特任講師)
小柴孝子 (千葉大学子どものこころの発達教育研究センター特任研究員)

本研修会は、不安の予防教育プログラム

「勇者の旅」の指導者を養成します。

不安の問題に対処する
知識とスキルを、
授業で教えてみませんか？



お申込み締切: 7月28日(火)

※「勇者の旅」ホームページからお申し込みいただけます。

- ◆ 内容: ミニ講義 (認知行動療法とは/「勇者の旅」プログラムとは)、模擬授業の動画視聴、授業のポイント解説、グループディスカッション、同意事項説明と誓約書提出、質疑応答、修了証授与 (後日)
- ◆ 対象: 小中学校の教諭、養護教諭、スクールカウンセラーなどの専門資格をもち、学校現場で子どものこころの教育に携わっている方 (学級活動、総合的な学習の時間、道徳等の時間に実施をご検討いただける先生であれば、お申込みいただけます。)
- ◆ 定員: 50名 (**事前申込制**です。申し込み方法の詳細は、裏面をご覧ください。)

◆ ワークショップの目的

子どもたちは様々な不安の問題を抱えており、それが学校生活での不適応（問題行動・不登校等）や学業成績の不振につながる場合も多くあります。その解決法として、不安の感情をコントロールする目的で、考え方（認知）や行動のパターンを見直す認知行動療法が、医療機関で実施されています。

また近年、学校現場において、学級集団を対象に認知行動療法に基づく指導を行うことで、子どもたちの不安の点数を低減することが実証できています。本ワークショップは、小学校5～6年生から中学校の児童生徒向けに、学校で行う認知行動療法の授業を実践できるようになるための研修会です。

◆ 研修会参加申し込み方法

- ①氏名（ふりがな） ②性別 ③所属 ④職種 ⑤資料送付先（所属先の郵便番号と住所）
⑥参加希望日程（A・B） ⑦（当日連絡のつく）電話番号 ⑧（異動後も連絡可能な）メールアドレス
⑨授業実践予定の有無（今年度予定・来年度予定・未定・なし） について明記の上、
7月28日（火）までに、yuushanotabi@chiba-u.jpまでお申し込み下さい。

【お申し込みにあたっての留意事項】

- ・今年度、または次年度に勤務校にて授業実践予定となっている先生方は、優先的に本研修をご受講いただくことができます。⑨にその旨を明記してください。
- ・お申し込みが定員を超えた場合、抽選とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ・抽選の結果等につきましては、7月の最終週に、お申込みメールへ返信の形でご連絡いたします。上記の申し込みアドレスから結果が送信されますので、受信設定をあらかじめご確認ください。
- ・ワークショップをご受講いただくにあたり、①安定したWi-Fi環境と、②ZoomアプリをインストールしたPCまたはタブレット端末（ウェブカメラ、マイク、スピーカー付）を事前にご準備くださいますよう、お願いいたします。また、受講生同士が同じ部屋におりますと、ハウリングを起こすことがありますので、当日は別々の（周りが静かな）お部屋からご参加くださいますよう、重ねてお願いいたします。
- ・ご参加いただく方には、オンライン研修会（Zoom）の招待状を、事前にメールにてお送りいたします。

【子どもみんなプロジェクト】

「子どもみんなプロジェクト」は、平成26年7月24日の文部科学省「情動の科学的解明と教育等への応用に関する調査研究協力者会議（審議のまとめ）」の提言を受け、研究と教育の現場をつなぐ目的で立ち上げられたものであり、平成27年度～令和元年度の文部科学省委託事業として、大学コンソーシアム（大阪大学を基幹大学に、金沢大学、浜松医科大学、千葉大学、福井大学、鳥取大学、弘前大学、兵庫教育大学、武庫川女子大学、中京大学の10大学）により行われました。

令和2年度からは、新たに文部科学省の支援を受けて千葉大学に对人援助教育学部門が新設され、その中で「子どもみんなプロジェクト第2期」を展開していくこととなりました。今後も、不登校やいじめ、子どもの問題行動等とともに、子どもたちみんなの育ちと学びについて、教育実践者と基礎的学問領域の研究者がそれぞれの立場から課題について考え、その解決策を探ります。（URL<http://www.kodomo-minna.jp/>）